

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式ウェブサイトにてご確認ください)

●公共機関

- 区役所
会館
会館
郵便局
郵便局
郵便局
郵便局
郵便局
郵便局
放送局

●元住吉西口 (プレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- 音楽教室
花屋
鉄板焼
ヘアサロン
カフェ
果物
パン
コーヒー専門
イタリア料理
カイロ、整体
音楽教室
コインランドリー
理容室
接骨院
ヘアサロン
デザイン制作
カフェ
時計・貴金属

●元住吉東口 (オズ商店街通り)

- サンドウィッチ
介護センター
お茶
鍼灸院
介護センター
古本・CD
調剤薬局
飲み喰い処
イタリア料理
STEAK
カフェ
Gステーション

●元住吉近郊

- 喫茶室
武蔵小杉近郊
喫茶店
喫茶店
紅茶専門店
東横線沿線
調剤薬局
写真
レストラン&バー
調剤薬局
カフェレストラン
ジャズ喫茶

中原区役所5Fなかはらっぱ 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎プレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 川崎木月大町郵便局中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791
SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
MUI (旧ともえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
オステリアヴァカノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル1F Tel.044-434-4342
島倉学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1 ART FLATS 1F Tel.044-567-5490
マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
つどとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022

ベトナムウィッチThao' 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
ツグイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
凸つと凹つと 中原区木月2-10-3
綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863

シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
Cafe TEMO (テモ) 中原区小上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
Coffee Spot Life (ライフ) 中原区小上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076

駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
Public House びあにしも 川崎市小川町16-15ヒロサワビル103号Tel. 044-201-1668
オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
カンファ-ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
マシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記事は無料です

M MAGAZINE 発行人:塚田親一 発行:音楽好きな友の会 TEL:090-9643-7156 中原区木月1-35-1フルッチョ2F TEL:090-9643-2889 2018-8-15-800 PrintingRK

M MAGAZINE

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎市国際交流協会
人形劇団ひとみ座 / rk-factory

元住吉の気軽な音楽会



September
2018 9月号

9月2日(日) 13:30~
9月16日(日) 13:30~
音友レコード倶楽部
フルッチョ2F 音友ハウス

9月18日(火) 12:10~
ランチタイム・ロビーコンサート
川崎市生涯学習プラザ

9月24日(月・祝)
ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
14:30~15:30
フルッチョ2F 音友ハウス

9月24日(月・祝) 19:00~
クラシックの
生演奏&気軽なトーク
「かののかい」
フルッチョ2F 音友ハウス

9月24日(月・祝) 14:00~
日本とキルギス友好コンサート
川崎市国際交流センター・ホール

9月27日(木) 18:30~
メキシコの音楽と民族舞踊
川崎市国際交流センター・ホール



カサンドラ・ウィルソン(1955~)
アメリカ出身の女性ジャズ歌手・シン
ガーソングライター。1996年度・
2008年度のグラミー賞最優秀ジャ
ズ・ヴォーカル・アルバム賞の受賞
者。1990年代を代表するジャズ歌
手の一人として評価された。レパト
リーは広く、ジャズとブルースのスタン
ダード・ナンバーから、ポップ、ロックま
で歌う。自作曲も多い。ブルージーな
声質で、女性としては非常に低い声
域を持つ。音楽スタイルはスウィング、
ファンク、ボサノヴァの影響
を受けている。1993年にブル
ーノート・レコードから発
売したメジャー第1作「ブル
ー・ライト・ティル・ドーン」
が高い評価を得る。1996
年に発表したアルバム
「ニュー・ムーン・ドーター」
で、初のグラミー賞受賞を
果たす。1999年、マイル
ス・デイヴィスに捧げられた
アルバム『トラヴェリング・
マイルス』を発表。(写真と
文はウィキペディアから)

M MAGAZINE 2018 SEPTEMBER ISSUE

田島華乃のお知らせ

ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
9月24日(月)

開催時刻: 14:30~15:30

子供たちにこそ本物の音楽を、
0歳から聴く、本格ヴァイオリンコンサート
ちび楽器もさわれます!

コンサートの前後はちびバイオリン体験コーナーです。

★参加費 親子1組:2,500円(追加1名1,000円)
★自転車、ベビーカー駐輪可能



●お問い合わせ・お申し込み
音の家otonoya

kano.otonoya@gmail.com

会場:音友ハウス
元住吉駅西口徒歩1分、フルッチョ2F

●田島華乃
桐朋学園大学音楽学部を卒業。
第44回小野アキラ音楽祭に参加。
全日本芸術音楽コンクール第2位。
室内楽や都内の
オーケストラで活動中。

田島華乃の生演奏&気軽なトーク

第5回 かののかい



◎日時:9月24日(月)
開場:18:30/開演:19:00~

◎料金:投げ銭

◎会場:音友ハウス
フルッチョ1階窓脇に自転車、ベビーカー駐輪可能
東急東横線元住吉駅西口徒歩1分
川崎市中原区木月1-35-1 フルッチョ 2F

◎演奏&トーク:田島華乃

9月生まれのクラシック作曲家の曲を中心に演奏します。
今回も私が取り組みたい曲を、聴きにきて下さった
皆さんと共有できたら嬉しく思います。
そんな私と共演者のアンサンブルや、
そのやり取りをお楽しみいただけると幸いです。

親子向けコンサート「ママ
のおひざで聴くヴァイオリン
コンサート」で元住吉にて活
躍中の田島華乃が「クラ
シックや映画音楽や絵本と
のコラボなど、様々な角
度から音楽や人生と向き合
う」を企画しました。

参加料金は、共演者やお
客様とのおしゃべりを交えな
がらの、のんびりとした投げ
銭です。「かののかい」とある
ように、半ば私自身の探究
する為の会でもありますので、
皆様からいただいた投げ銭は、
共演者の方への御礼と
させていただきます。かとい
って、自己満足にはならぬ
よう、謙虚な姿勢で開催す
る所存です。
フルッチョ2階の「音友ハ
ウス」へ立ち寄りみてくだ
さい。(田島華乃)

川崎市国際交流センター(会場:センター・ホール)



地球市民講座
キルギス障がい者支援の活動に学ぶ
日本とキルギス友好コンサート

9月24日(月・祝) 14:00開演(13:30開場)入場無料
入場ご希望連絡先:Tel.090-9643-7156

メール:matsu.shin@pep.ne.jp(松田)
キルギスの全盲の歌姫グルムさんをむかえてキルギスの
音楽を楽しむとともに、キルギスの障がい者支援について学びます。



日本・メキシコ外交関係樹立130周年記念コンサート

メキシコの音楽と民族舞踊

9月27日(木) 18:30~20:30(18:00開場)

入場料:前売り2,500円、当日3,000円(メキシコのおつまみと飲み物つき)

大きな帽子と衣装が印象的な音楽隊「マリアッチ・アガベ」が
メキシコから来日します。民族舞踊団も参加します。

お問い合わせ・お申し込みは
川崎市国際交流協会まで。

川崎市生涯学習プラザ

第69回 ランチタイム・ロビーコンサート

9月18日(火) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

●出演:もとすみフラメンコ
踊り・やのちえみ
他(やのちえみフラメンコス
タジオ)
元住吉をフラメンコの情熱
パワーで元気にほめ言葉に
元住吉在住のプロのフ
ラメンコアーティストが中心
となって旗揚げした「もとす
みフラメンコ」プロジェクトの
ライブです。本物のフラメン
コを間近でお楽しみ下さい!



音友ハウス 元住吉駅西口徒歩1分、フルッチョ2F

9月2日(日) 13:30~
音友レコード倶楽部

「テナー・サクソ奏者
デイック・モリッシーと
ギターリスト、ジム・
ミュレンが結成した
双頭バンド、モリッ
シー・ミュレンの特集
です。このバンドはシャ



●お問い合わせ
音楽好きな友の会
コンサート担当
TEL 090-9398-2889
E-mail:info@ontomo.jp
川崎市中原区木月1-35-1
フルッチョビル 2F



「音友会」の活動拠点は
元住吉駅西口徒歩1分、
フルッチョ2F。
音友ハウスです。

音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/
090-9398-2889(担当:塚田)



歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない
驚くほど歌い方が上達する
「島倉学メソッド」

島倉学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所
代表 島倉学 営業日:火曜~土曜 12:00~21:00
定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940
Mail: info@ms-musicschool.com
HP: http://www.ms-musicschool.com/

連載24 私とジャズ 松波陽介

Smells Like Teen Spirit



ともとても暑い夏が明けましたね、本当に暑い夏でした。最高気温が40度を越える地域もあったようで、いやはやもはや日本も亜熱帯を卒業して、熱帯の仲間入り果たすのでは?と感ずる今日この頃です。(という話は以前の記事でもお話ししましたね、バックナンバーは音友会のホームページから閲覧可能です!)

部(そもそも音楽にジャンルわけなんてナンセンス、なんて事を思ったりしているのですが…)と捉えられることがあります。それでも今回の経験を通して感じたことがあります。そもそもポップスとは何か、という問いがまず生まれるかと思いますがそれは今回議論の的には敢えてあげません。(技術的に皆さんにお伝えするスキルがありませんので笑)ポップス音楽の肝になる事はとにかく合わせて練習することなのだ、という事を感じました。演奏する曲に関してどのようなイメージをもって、そのイメージを共有すると共にできるだけ同じ方向に擦り合わせていき、演奏を昇華していくこそがポップス音楽の醍醐味なのかな、という事を感じました。もちろん個性の隔たりな

んでこともあるので、それはバンド内で揉めたりして解散、なんて事も有り体に言えばありえるな、という事も感じました。(そこは自分はこんなイメージだなんていうの応戦!大変だった。笑)

それに比べてジャズはなんて居心地の良いものかという事もまた感じた瞬間でありました。(いや、何もジャズが気楽にやっている音楽という意味ではないですよ、決して。)ジャズは探り合って段々と知っていき、それに対して自分がどう反応するか、いわばテニスのラリーやサッカーのボール回しのような事をイメージしました。競技ですね。ただそこで土台となってくるのは、ポップスにしろジャズにしろ「演奏技術」ではないか、という事を感じました。感じ取った事を伝える、



または相手の音に対して反応する際に音楽ですから、演奏という形でしか示す形がないのです。一にも二にも技術というは持ちすぎて悪いことではないな、という事を感じた瞬間でした。(僕自身練習がとて嫌いなことはここでは内緒、という事にさせていただきます。笑)少し外れてしまっていますが、以前に記事の題材で世阿弥の風姿花伝について取り上げましたが、その世阿弥もこのように述べています。「一切、芸道に習い覚してきて行う道あるべし」一体なんのこっちゃ、と思われるかもしれませんが、芸事を行うということはもちろん観客に見られる事も目的としているけれど、また反面では観客を必要とせず自己修練的な面も持つ、という事を言いたいのです。やはり、何事においても精進、鍛錬、修行は重要な事なのだという事です。

連載21 4ビートに首ったけ

リスナーに優しい、珠玉のアルバム。ジャズジャイアンツのテナーに酔いしれましょう。

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹

最近、皆さんは何か新しい事を始めましたか?私は今年に入ってから絵を習い始めました。もちろん素人ですから、ワインの瓶や洋ナシをデッサンしています。絵を描く時は、普段使っていない脳味噌を使っているらしく、2時間くらい集中して描いた後、頭がボーっとするのですけれど同時にスッキリするような気がします。絵画にも興味が湧いてきて、休日は美術館巡りをしようになりました。とどろき世界が広がっていくようでワクワクしています。新しい事を始めるって楽しいですよ。ジャズを聴き始めた頃も同じようにワクワクしたのを覚えています。毎日のようにレコード屋に通ったり、友達とレコードを貸し借りしたり、ジャズ喫茶にも良く行きました。新宿ピットインで昼の部なら格安で(確か800円くらいだったかな?)ライブ演奏

が聴けたんですよ。ちょっと調べてみたら、今でも営業しているの、今度久し振りに行ってみたいかな? そんな、ジャズ初心者の方は、もちろん難しいジャズなどは聴きませんが(今でも聴かないですが)、分かり易くてゴキゲンなアルバムばかり聴いていました。例えばオスカー・ピーターソンの「WE GET REQUESTS」とかソニー・クラークの「COOL STRUTTIN'」とかスタン・ゲッツの「GETZ/GILBERTO」とか。ジャズの事なんか何も知らなくても、すごく楽しいしカッコ良いアルバムって一杯ありますよね。そんなアルバム達がジャズの敷居を低くしてくれて、ジャズの世界を広げてくれました。今回はその頃聴いて感動した、リスナーに優しい、ジョン・コルトレーンの2枚をご紹介します。ぜひ1枚目は「BALLADS」(写真①)。

シンプルでメロウで美しいアルバムを録音したのでしょね?レコード会社が売り上げの為に企画したのかな?真相はわかりませんが、とにかくコルトレーンからのプレゼントのようなステキなアルバムです。まずは1曲目「Say It Over and Over Again」が素晴らしい。この出だしのフレーズに感動しない人は多分この世にいません(笑)。優しく、さりげなく、まるでセリフのように語り掛けます。3曲目「Too Young to Go Steady」もお勧めです。テナーの絞り出すような高音が切なさを掻き立てます。5曲目「I Wish I Know」、7曲目「It's Easy to Remember」も良いですよ。また、アルバムを通して、マッコイ・タイナーのピアノがチャタリングで良いアクセントになっているので、是非気にして聴いてください。



▲②JHON COLTRANE & JOHNNY HARTMAN 感に溢れています。どの曲も素晴らしいのですが、お勧めは1、2、3、5曲目。殆ど全部です(笑)。特に聴いて欲しいのは、3曲目「My one and only love」で決まりです。この曲は大好きなので、いろいろなミュージシャンの演奏を聴きましたが、このテイクはとても印象的で、聴くたびに心の琴線に響き、胸が締め付けられるようです。ちなみに1番のお気に入りにはジム・ホールとトミー・フランナンのデュオです。ジョン・コルトレーンと言うと、最後の頃はフリージャズにも傾倒してしまいか、ちょっと難しそうな印象もあるのですが、こんなに心地良いアルバムもあるんですね。ただ難点は、お店(花屋です)のBGMでかけていると、まるで深夜のバーのようなムードになってしまい、奥さんに迷惑そうな顔をされてしまいます。やっぱり花屋のBGMはボサノバ系が合いますよね。ではまた。



▲①BALLADS/JHON COLTRANE

2枚目は翌年録音された「JHON COLTRANE & JOHNNY HARTMAN」(写真②)。このアルバムもバラードばかりを趣味良く並べた名作です。ジョニー・ハートマンのボーカルは過剰に飾り立てる事は無く、シンプルにメロディーを紡ぎ味わい深く、コルトレーンのテナーはひたすらに美しく情

Essay 「くじら座」日記 牧野 ケント

目がない夏

オシャレ眼鏡って言いますが、目が悪い私からすると交代してあげたいです。鼻の頭が痛いです。視力の矯正をしていなかった頃はステージからお客さんの顔が見えず、誰が来ていているのかわからないことがありました。これってとても切なかったです。歌っているとき、観客席の反応はミュージシャンに大きな影響を与えるものなんです。楽しそうにしてくれている顔、そうでもなさそうな顔、すぐわかるものなんですね。先日、そろそろコンタクトレンズの度を変えたくて眼科に行きました。目の悪

さに度肝を抜かれる瞬間です。「見えません」「見えません」「見えません」。その後、従来のものとは違う新しいレンズを勧められて。少し迷った末、結局新しいものに変更しました。世界がくっきり見えるようになりました。これならステージから誰が聴いてくれるかよく見えそうだな。目が悪いわけです。風呂上がりはいつも眼鏡なので、眼鏡を忘れた夜は本当危ないです。「目がねえ」状態です。先日、久しぶりに大学時代の教科書を見つけました。全くわからなくなっていま

した。勉強したのにほとんど思い出せないものです。悔しくなり、特に意味もないけどまた勉強してみました。勉強には「目がねえ」最近です。世間は夏休み後半?。私には夏休みがありません。心配無用。眼鏡を外せば休日もわかんないくらい、カレンダーがボヤけて見えてるからです。「目がねえ」状態です。次のライブが楽しみな2018秋です。



▲くじら座、左から牧野くみ、牧野ケント

アットホームな小さなお店、お品書きに無いお料理も女将さんにご相談。 すいせん 飲み喰い処 粹い仙ん。 元住吉駅東口徒歩5分、網島街道を渡り日吉方面。 営業時間: 17:00~23:00 休日: 日曜・祭日 川崎市中原区木月2-20-47 Tel 044-411-8980

Essay Addicted to Guitar-6 永瀬 晋

ボサノバ

お世話になっております。今月もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。この夏は、記録的な暑さが続きましたね…。夏といえばお盆休みなど、少し長めのお休みをもらった方が多かったと思いますが、そんな時は是非楽器の練習などいかがでしょうか(笑)

音楽ジャンルにも「夏といえ」ばというジャンルも数多くあるのですが、その代表格はボサノバでしょうか。どんなジャンルかといいますが、「ジャズとサンバを合体させたスタイル」というのが一般的な解釈ですが、ここ数年、飲食店~小売店などのBGMで耳にすることが多いと思いますので皆様も一度は聞いたことがあると思います。そしてこのボサノバという

ジャンルはギターで伴奏することが多いジャンルで、弾き語りなど一人での演奏にぴったりです。ボサノバの伴奏パターンを一つご紹介したいと思います。以下のパターンはコード一つだけで「それっぽく」なってしまうパターンですね。注意点はベースライン



ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チェット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

Jazz & Light Music 音友レコード倶楽部Report ONTOMO MUSIC RECORD CLUB ACTIVITY REPORT

音友会Report 2018年7月音友会

今回は~ミュージカル映画の「南太平洋」サウンドトラックLP盤を全曲鑑賞する特集~で、参加者持ち込みCDも映画音楽関連の曲が多く、若い方々の参加も多かった事が特徴でした。最初の持ち込みはミュージカル映画「レ・ミゼラブル」のファンティーズが絶望の淵で歌う「夢破れて」を歌の勉強をしている方が個人的にカラオケをバックに録音したCDからスタート。なかなかの熱唱で聴き惚れる様な唄でした。今井美樹も好きだと一曲披露。続けてジミー・ドーシー楽団による「ラテン・アメリカン・ヒット集」(写真

①)は、ヴォーカルにヘレン・オコネル、ボブ・エヴァリーをフィーチャーして1940年~42年の録音。しかも貴重な7インチ45回転盤アルバムで「The Breeze And I(そよ風と私)」、「Amapola」、「Maria Elena」などを再生しました。まだ私が幼い頃、ラジオから流れていた曲も含まれ、大変懐かし感でした。本格的なジャズ演奏ではスウェーデンのヤン・ラングレン・トリオ(マシュマロ・レーベル)(写真②)によるアルバムから「シェルブールの雨傘」「雨に歌えば」、またAORシンガーネッド・ドヒニーの夏らしいジャケット

多くの若い世代の参加につなげたい「軽音楽(Light Music)」の日

「ハード・キャンディ」(写真③)から「A Love Of Your Own」、日本人のアコーディオン奏者 小林靖宏(俗称:Coba)の「シチリアの月の下で」(写真④)から「Sara」、「スペイン階段の誘惑」などを鑑賞しました。たまたま、8月にネッド・ドヒニーがビルボードライブ東京等で公演することが後からわかり、ちょうど良いタイミングでかけることができました。後半はいよいよ本日の特集であるリチャード・ロジャース&オスカー・ハマースタイン2世のミュージカル映画のサウンドトラックLP盤「南太平洋」(写真⑤)

A・B面の全曲を聴きました。「バリ・ハイ」魅惑の宵等いくつかの曲は聴いた事があるものの、個人的にはこの映画を鑑賞した事がないため、どのような場面で流れたかが気になりました。南太平洋のある島に中尉が来たところからストーリーが始まり、対日作戦に協力するフランス出身の農園主と島の海軍看護婦、そして島の土産物屋の娘と中尉との2組の恋を描く物語。視聴後に映画のどの場面で歌われていたか確認したいなあと思った次第です。(フレドリック・ジョーンズ記)



▲①Latin American Favorites/Jimmy Dorsey ▲②Jan Lundgren Trio/Les Parapluies de Cherbourg ▲③Hard Candy/Ned Doherty ▲④シチリアの月の下で/小林靖宏 ▲⑤South Pacific/Sound track

アンサンブル演奏や良質なコンコード・ジャズ作品で盛り上がる

酷暑の中での開催となりました。開催日の翌々日7月17日はジョン・コルトレーンの命日でしたので、筆者がラスト・レコーディングでもある「Expression」を持参しました。コルトレーンといえば6月末に未発表作を含むアルバムが発売になったばかりですが、その新譜「Both Directions At Once: The Lost Album」(写真①)を持参されたゲストがいて、絶頂期のコルトレーンの演奏が聴けるジャズの偉大な巨人を偲ぶことができました。前半の特集は新しく加わったD.J.による「アンサンブル演奏」でした。現役で

るD.J.のプログラムは「SAXアンサンブル」で、日本が誇るアレンジャー前田憲男、ベース荒川康夫、ドラムス猪俣猛など往年のビックネームが登場し懐かしかったです。パド・ジャンクとビル・パーキンスのコンビが入ったアルバム「Bud Shank & The Sax Section」(写真②)からの「Summer Samba」はこの時期にぴったりの曲でした。そして「Additions to Further Definitions」(写真③)はジャズ界の至宝ベニー・カーターがウエストコースト・ジャズのスターたちと吹き込んだ作品で、アンサンブルにソロにとご機嫌なプレイが連続しました。

後半はレーベル特集で1973年に創業したコンコード・レコードから7枚のアルバム紹介がありました。スコット・ハミルトンとスパイク・ロビンソンの二人が入ったアルバム「Groovin' High」(写真④)の「Blues Up And Down」は心が和みましたね。ロビンソンは米国人でありながら英国で活躍しました。レスター派と言うよりもゲッツ派ともいえる人々のようです。スコット・ハミルトンはコンコード・レコードに40枚以上レコーディングしているんですね。最後に60年代の末頃から音楽活動を停止していたローズマリー・クルーニーが、

1977年にリリースした復帰第一作「Everything's Coming Up Rosie」(写真⑤)は、ジャケット・デザインがなんとも言えぬ魅力的ですが、「More Than You Know」でのスコット・ハミルトンのソロはベン・ウェブスターを彷彿させるとD.J.が語っておりましたようにとても味がありました。ところで富士通コンコード・ジャズ・フェスティバル・ヒストリーを調査してみると1986年第1回公演の目玉ゲストはこのローズマリー・クルーニーとスコット・ハミルトン・クインテットでした。良質なジャズを聴くことができ暑さにも負けずに参加した甲斐がありました。(K.Tanagawa)



▲① Both Directions At Once/J.Coltrane ▲② Bud Shank & the Sax Section/B.Shank ▲③ Additions to Further Definitions/B.Carte ▲④ Groovin' High/S.Hamilton ▲⑤ Everything's Coming Up Rosie/R.Clooney

9月16日のJazz Date 低音楽器の魅力・その1 (バリトン・サクソ編)

トランペットやサクソフォンと比較すると余り取り上げられる事がない低音楽器の特集です。今回はバリトン・サクソの巨匠として名高いジェリー・マリガン、しかも自己が率いる小編成バンドに限定した演奏を聴きます。

